



一般社団法人日本粘土学会 2020年度総会議案書

日 時:令和2年 9 月 15 日 (火) 10:45～12:00

場 所: (株)国際文献社パブリッシングセンター第 4 会議室および WEB 会議室
(東京都新宿区山吹町332-6)

総 会 次 第

開 会

総会の成立報告

会長挨拶

議長の選任

議事録署名人の指名

I. 審議事項

第1号議案 2020 年度事業報告

第2号議案 2020 年度収支決算報告及び監査報告

第3号議案 2021 年度事業計画

第4号議案 2021 年度収支予算

第5号議案 2021・2022 年度理事の選任

第6号議案 2021・2022 年度会長の選任

第7号議案 2021・2022 年度監事の選任

II. 報告事項

1. 2020 年度学会賞等の受賞者

2. 2020 年度学術振興賞の受賞者

3. 第 64 回粘土科学討論会の延期について

4. その他

閉 会

一般社団法人日本粘土学会 2020 年度事業報告書
(2019 年 8 月 1 日～2020 年 7 月 31 日)

1. 学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

2019 年 8 月:第 58 巻 2 号の発行。主な掲載内容は、第 63 回粘土科学討論会のお知らせ(プログラム等), 日本粘土学会 2019 年度総会案内, 受賞報告 1 件, 書評 1 報, 論文 1 報および学会記事。

2019 年 9 月:粘土科学ウェブサイトにおいて編集委員会編集委員リストの更新を行った。

2019 年 11 月: 太平洋セメント株式会社からの粘土科学の引用転載依頼に対して、出典と改変の明記を条件に申請を許可した。

2020 年 1 月:第 58 巻 3 号を発行。主な掲載内容は、第 64 回粘土科学討論会の予告, 2020 年度日本粘土学会学会賞等(学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞)受賞候補者の募集, 2020 年度日本粘土学会学術振興賞の募集, 2019 年度日本粘土学会学会賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀講演賞の選考結果報告, 2019 年度学術振興賞の受賞報告, 2021・2022 年度役員選挙推薦公募, 第 63 回粘土科学討論会の報告, 書評 1 報, 研究グループ活動報告および総会議事録等の学会記事。

2020 年 1 月:執筆要領と掲載同意書の修正(掲載料改定, 査読原稿区分け, クレジットカード対応)した。

2020 年 3 月:第 59 巻 1 号を発行予定、主な掲載内容は、64 回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込み等), 論文 3 報および学会記事。

2020 年 6 月:執筆要領の修正(規程との整合性)と広告申請書・広告募集案内修正(編集長所属の修正)を行った。

2020 年 7 月 7 日現在 査読中 1 編

本年度の論文受付数:6 編, 受理数:4 編

(2) Clay Science

2019 年 9 月: 2019 年度第 1 回 Clay Science 編集委員会(埼玉大学)

2019 年 12 月:Vol. 23, No.3 発行 掲載論文 3 編

2020 年 2～5 月:Clay Science 誌についてのアンケート実施 64 件回答

2020 年 5 月:Vol 23 No.4 発行 掲載論文 3 編

2020 年 6 月:にアンケート結果を日本粘土学会 HP に掲載

2020 年 8 月 7 日締め切りで Asian Clay 2020 特集号用の論文を募集中

2020 年 7 月 7 日現在 査読中 1 編

2. 研究発表会・見学会等の開催

(1) 第 63 回粘土科学討論会(埼玉大学)の開催

2019 年 9 月 10 日(火)～11 日(水):第 63 回粘土科学討論会(埼玉大会)を開催した。講演数及び参加登録者、懇親会参加者は次のとおり。

1) 講演数:シンポジウム講演 5 件、一般講演 口頭発表 38 件、ポスター発表 32 件、合計 75 件。ダイバーシティ推進に関するパネルディスカッションでの特別招待講演 1 件、招待パネリストによるショート講演 1 件。

2) 参加登録者:会員(正, シニア, 名誉, 共催・協賛・後援学協会会員を含む)93 名、学生会員(共催学会

学生会員を含む):16名, 一般非会員:10名, 学生非会員:12名、合計 131 名

3) 懇親会参加者 80 名

4) ポスト第 63 回粘土科学討論会見学会:9 月 12 日(木)、行先:さいたま新都心と秩父長瀬、参加者 19 名

(2) 第 64 回粘土科学討論会(信州大学)の準備

1) 2019 年 12 月 第 64 回粘土科学討論会の開催予告をホームページに掲載した。

2) 第 64 回粘土科学討論会の開催について(予告)(1st サーキュラー)を粘土科学(第 58 巻, 第 3 号, 2019 年)に掲載した。

3) 2020 年 4 月 第 64 回粘土科学討論会のお知らせ(1st サーキュラー)をホームページに掲載した。

4) 第 64 回粘土科学討論会のお知らせ(2nd サーキュラー)を粘土科学(第 59 巻, 第 1 号, 2020 年)に掲載した。

5) 2020 年 5 月 25 日～28 日の臨時理事会(メール審議)にて、第 64 回粘土科学討論会はコロナ禍の影響により 1 年程度延期されることが決まった。

6) 2021 年 9 月 13～17 日の期間に開催できるよう会場を確保した。

3. シンポジウム・セミナーの開催

(1) 第 63 回粘土科学討論会(埼玉大学)でのシンポジウム開催

1) 2019 年 9 月 10 日 シンポジウムテーマ「水惑星と粘土」、講演 5 件で開催した。

2) 2019 年 12 月 シンポジウム報告を粘土科学第 58 巻第 3 号に掲載した。

(2) 第 64 回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備

1) 2020 年 1 月 第 64 回粘土科学討論会でのシンポジウムの概略を草案した。

テーマを「粘土科学における SDGs」(仮題)とし、開催時間 3 時間程度(講師 5 名、講演時間 30 分程度/1 人)の開催予定で提案した。

2) 2020 年 2 月 講演者、講演題目を決定し、実行委員会に連絡した。

3) 2020 年 6 月 第 64 回粘土科学討論会延期の決定に伴い、「来年に現企画を延期する可能性を残して一度中止とし、9 月の総会(またはそれ以降)までに企画案を固める」という方針を協議の上決定、講演予定者全員に連絡した。

(3) セミナー企画について

2019 年 12 月～2020 年 2 月 セミナー企画を企画委員会内で議論、案作成を進めた。

4. 参考粘土試料

令和元年 7 月現在、参考粘土試料として、カオリナイト(関白)、ディッカイト(勝光山)、パイロフィライト(勝光山)、モンモリロナイト(月布・三川)、合成サポナイト(クニミネ工業)、ハイドロバイオタイト(南アフリカ)の 7 種類を頒布している。

令和元年 8 月 1 日～令和 2 年 7 月 31 日分までの頒布状況は以下の通りである。

JCSS-1101 カオリナイト(関白)	1,700g
JCSS-1301 ディッカイト(勝光山)	200g
JCSS-2101 パイロフィライト(勝光山)	400g
JCSS-3101 モンモリロナイト(月布)	800g
JCSS-3102 モンモリロナイト(三川)	300g
JCSS-3501 合成サポナイト(クニミネ工業)	1,700g
JCSS-5501 ハイドロバイオタイト(南アフリカ)	100g

5. 広報

2019 年 9 月:2019 年度総会議案書、2019 年度総会議事録、第 1 回理事会及び常務委員会議事録を掲載した。

2020 年 1 月:学会賞等受賞候補者、学術振興賞の募集、粘土科学討論会報告および開催案内を掲載した。

2020 年 2 月:第 2 回常務委員会及び理事会議事録を掲載した。

2020 年 3 月:2021・2022 年度役員候補者の推薦公募に関する案内を掲載した。

2020 年 6 月:臨時理事会議事録の掲載、第 64 回粘土科学討論会の開催延期についてのお知らせ、Clay Science 誌アンケート結果についての報告を掲載した。

適宜:会員に関連するワークショップや Asian Clay 等の案内、公募情報など、会員向けメーリングリストを使用して情報発信を行った。

適宜:各種ページ、添付ファイルの更新を行った。

適宜:粘土科学 Q&A 数件に関して、対応すべき内容に関して適切に対応を行った。

6. 渉外

2019 年 11 月および 2020 年 1 月に、2020 年 6 月にタイで開催される第 4 回 Asian Clay Conference (ACC-2020)の告知を会員にメールで行った。その後、COVID-19 による渡航制限が生じ、実施方について LOC と密に連絡を取り合った。その結果、6 月 8 日～9 日の日程で開催されることになり、2020 年 3 月および 5 月に、改めて会員向け告知を行った。ACC-2020 はオンライン会議形式で開催され、日本から 57 人、世界 14 か国から合計 202 人の登録参加者があり、4会場のパレルセッションで 150 件を超える発表が行われた。

第 5 回アジア粘土会議と米国粘土学会の年会に関する協力関係に関しては、ACC-2020 の council meeting でも協議がなされ、各国から一名、窓口を作ることが提案された。日本の窓口には佐藤努北大教授が就任することとなった。また、Asian Clay 側から Co-chair を推薦して欲しいとの要請があり、日本粘土学会からは 2024 年度の会長を推薦したが、中国、韓国からもそれぞれ推薦があり、現在調整中。

2020 年 1 月に AIPEA ニュースレターの作成及び送付を行った。

AIPEA の web ページ内に各国学協会を紹介ページが開設されることになった。本会においては広報委員長が管理者となり、本会 web の英語ページをリンクすることから始めることとした。

AIPEA が法人として登記する上で、加盟団体の代表者のリストが必要とのことで本会に照会があった。本会からは次期会長である小暮敏博教授をリストに掲載することとなった。

7. 表彰

(1)学会賞等

2019 年 9 月 10 日開催の 2019 年度表彰式で、次のとおり学会賞等の受賞者が表彰された。優秀講演賞については、2019 年 11 月に各受賞者へ賞状が送付された。

学会賞 中戸晃之（九州工業大学 大学院工学研究院 物質工学研究系）

受賞題目「コロイド科学にもとづく新しい無機ナノシート材料化学の開拓」

功績賞 高木哲一（産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門）

受賞題目「ベントナイトやカオリン等国内粘土に関する資源量調査と持続的な供給に関する研究を通じた粘土科学発展への貢献」

奨励賞 鈴木康孝（山口大学 大学院創成科学研究科）

受賞題目「粘土層間を利用した有機色素分子の光機能開拓」

技術賞 野口幸紀（株式会社イチネンケミカルズ）

受賞題目「塗工用水系粘土ペーストの開発と基板コーティング材料への展開」

論文賞 四辻健治・舘 幸男・河村雄行・有馬立身・佐久間博

受賞論文：分子動力学法によるモンモリロナイト層間中の水とイオンの物性評価—拡散モデルへの反映— 粘土科学 第 58 巻 第 1 号 8-25 (2019)

論文賞 M. Koike, Y. Asakura, Y. Kuroda, H. Wada, A. Shimojima, K. Kuroda

受賞論文：EFFECT OF INTERCALATED AMIDE MOLECULES ON INTERLAYER CONDENSATION OF LAYERED SILICATE RUB-15 Clay Science 22, 1-11 (2018).

優秀講演賞

口 頭 発 表：井上紗綾子（東大・院理）、池田暉（山大・院）

ポスター発表：小山田祐基（早大・院）、Hossain Sushmita（埼玉大・院）

(2) 学術振興賞

2019 年 9 月 10 日開催の 2019 年度表彰式で、次のとおり学術振興賞の受賞者が表彰された。

西尾謙吾（中大・院）

“Photoluminescence Cu nanoparticles induced by energy transfer on saponite nanosheets”

西木悠人（北大・院）

“Formation of low-crystalline magnesium silicate at Kamuikotan metamorphic belts, Hokkaido, Japan”

秋田郁美（北大・院）

“A real space investigation of excited energy transfer reaction in quantum dots assembly of silicate surfaces through electron tomography “

8. 研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部（5 万円）の援助を実施した。

活動中の研究グループは「粘土鉱物を利用した革新的材料創製グループ」の 1 件である。

9. 庶務

(1) 他学会等との連絡・協力

日本地球惑星科学連合 (JpGU) 関連事項

1) 予定されていた JpGU2020 大会 (JpGU-AGU Joint Meeting) は、新型コロナウイルス感染拡大のため、オンライン開催となり、日程も延期となった (2020 年 7 月 12 日 (日)～16 日 (木))。一部の発表はキャンセルになったものの、5414 件の発表が ZOOM ライブあるいは iPoster で実施。

・COVID-19 関連の緊急セッションも複数開催 (国際連携、地球環境・災害、ダイバーシティ (緊急アンケートの結果速報))

2) 学協会長会議開催 (2020 年 7 月 14 日 (火) 12:30～13:30、ZOOM)

(2) 関連学協会との共催・協賛

期間中に下記の共催 2 件、協賛 6 件の依頼があった。

共催

- 1) 第 62 回日本薄片研磨片技術研究討論会 (2019/10/2～R1/10/4) 日本薄片研磨片技術研究会
- 2) 第 9 回環境放射線除染研究発表会・国際シンポジウム(2020/7/1～R2/7/2) (一社)環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

協賛

- 1) 熱測定サマースクール 2019(第 83 回熱測定講習会)～基礎から応用まで！材料・食品・バイオ分野の熱測定ユーザー向け基礎講義&実習 2019/8/20～21) 日本熱測定学会
- 2) The 13th Pacific Rim Conference of Ceramic Societies (PACRIM13)(2019/10/ 27～11/1) 公益社団法人日本セラミックス協会
- 3) 第 35 回ゼオライト研究発表会(2019/12/5～R1/12/6) 一般社団法人 日本ゼオライト学会
- 4) 熱測定スプリングスクール 2020(第 84 回熱測定講習会)(2020/3/12～13) 日本熱測定学会
- 5) 第 56 回 X 線分析討論会(2020/10/28～29) (公社)日本分析化学会 X 線分析研究懇談会
- 6) 第 36 回ゼオライト研究発表会(2020/11/19～20)(一社)日本ゼオライト学会

(3) 会員動向

会員種別	2019/8/24	2019/9/10	2020/1/17	2020/7/25	2020/8/22
名誉会員	19	18	17	15	14
シニア会員	10	10	10	10	14
正会員	275	273	273	273	257 (1)
学生会員	22	22	23	23	18
賛助会員 1 級	7	7	7	7	7
賛助会員 2 級	7	7	7	7	7
賛助会員 3 級	13	13	13	13	13
会員数	353	350	350	348	330

()は、会費 2 年以上未納による会員資格停止者数

10. 常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

2020 年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催した。

9 月 11 日(水)第1回常務委員会

主な議題:2020 年度年間スケジュール、2020 年度常務委員の役割分担、粘土科学討論会について

1 月 25 日(土)第 2 回常務委員会

主な議題:2020 年度事業中間報告、2020 年度会計中間報告、賛助会員のアンケートについて、「粘土科学」投稿及び原稿執筆要領の変更について、Clay Science 誌の将来に関するアンケートの実施について、常務委員会・理事会の開催場所にいない常務委員および理事の出席方法について、第 63 回粘土科学討論会について、第 64 回粘土科学討論会について、その他

7 月 25 日(土)第 3 回常務委員会

主な議題:2020 年度事業中間報告、2020 年度会計中間報告、2021 年度業務委託契約、2021 年度事業計画、2021 年度予算、2020 年度日本粘土学会学会賞等選考結果、2020 年度日本粘土学会

学術振興賞選考結果、2021・2022 年度日本粘土学会役員選挙結果、2020 年度総会の開催日時と形式について、第 64 回粘土科学討論会について、論文投稿における不正行為防止について、その他

(2) 理事会

2020 年度事業の業務執行を決定するため、下記のとおり理事会を開催した。

9 月 10 日(火)第1回理事会

主な議題:2020 年度年間スケジュール、2020 年度常務委員の役割分担、粘土科学討論会について

1 月 25 日(土)第2回理事会

主な議題:2020 年度事業中間報告、2020 年度会計中間報告、賛助会員のアンケートについて、「粘土科学」投稿及び原稿執筆要領の変更について、Clay Science 誌の将来に関するアンケートの実施について、常務委員会・理事会の開催場所にいない常務委員および理事の出席方法について、第 63 回粘土科学討論会について、第 64 回粘土科学討論会について、その他

5 月 25 日より 5 月 28 日 臨時理事会(メール審議)

主な議題:2020 年度粘土科学討論会の開催について、2020 年度日本粘土学会総会の開催について

7 月 25 日(土)第 3 回理事会

主な議題:2020 年度事業中間報告、2020 年度会計中間報告、2021 年度業務委託契約、2021 年度事業計画、2021 年度予算、2020 年度日本粘土学会学会賞等選考結果、2020 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、2021、2022 年度日本粘土学会役員選挙結果、2020 年度総会の開催日時と形式について、第 64 回粘土科学討論会について、論文投稿における不正行為防止について、その他

一般社団法人日本粘土学会 2020 年度会計決算報告書

(2019 年 8 月 1 日～2020 年 7 月 31 日)

1. 2020 年度貸借対照表

一般社団法人日本粘土学会 2020 年度 貸借対照表
(2020 年 7 月 31 日現在)

(単位:円)

科 目	当年度 (2020.7.31 現在)	前年度 (2019.7.31 現在)	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
預 金	4,728,442	5,324,829	-596,387
未収金	127,600	227,840	-100,240
流動資産合計	4,856,042	5,552,669	-696,627
2. 固定資産			
特定資産			
学術振興積立金預金	574,732	624,732	-50,000
特定資産合計	574,732	624,732	-50,000
固定資産合計	574,732	624,732	-50,000
資産合計	5,430,774	6,177,401	-746,627
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	50,000	1,259,112	-1,209,112
前受金	300,000	1,074,000	-774,000
前受会費	1,926,500	1,938,500	-12,000
流動負債合計	2,276,500	4,271,612	-1,995,112
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,276,500	4,271,612	-1,995,112
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
前期繰越正味財産	1,905,789	1,905,789	0
当期正味財産増減額	1,248,485	0	1,248,485
一般正味財産合計	3,154,274	1,905,789	1,248,485
正味財産合計	3,154,274	1,905,789	1,248,485
負債及び正味財産合計	5,430,774	6,177,401	-746,627

2. 2020 年度一般会計収支計算書

一般社団法人日本粘土学会 2020 年度 一般会計収支計算書
(2019 年 8 月 1 日～2020 年 7 月 31 日)

(単位:円)

科 目	予算額 (2019.8.1～ 2020.7.31)	決算額 (2019.8.1～ 2020.7.31)	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	2,787,000	2,818,500	-31,500	
正会員会費収入	1,925,000	1,949,500	-24,500	当年度 7,000 円×268 名(未納者 9 名) 過年度 7,000 円×10 名、3,500 円×1 名
シニア会員会費収入	35,000	28,000	7,000	当年度 3,500 円×8 名(未納者 2 名)
学生会員会費収入	77,000	91,000	-14,000	当年度 3,500 円×23 名(未納者 2 名) 過年度 3,500 円×3 名
賛助会員会費収入	750,000	750,000	0	当年度 40,000 円×7 社、30,000 円×7 社、 20,000 円×13 社
② 学会誌出版事業収入	1,221,000	1,428,908	-207,908	
粘土科学誌収入	550,000	723,924	-173,924	
粘土科学誌委託販売収入	52,000	81,824	-29,824	28 冊 単価 1,728 円(下記定価×0.8)、19 冊 単価 1,760 円(下記定価×0.8)
粘土科学誌購読料収入	108,000	98,040	9,960	24 冊 単価 2,160 円、21 冊 単価 2,200 円
粘土科学誌掲載料・別刷収入	165,000	324,060	-159,060	6 件
粘土科学誌バックナンバー収入	5,000	0	5,000	
粘土科学誌広告収入	220,000	220,000	0	粘土科学 2 件 単価 70,000 円×1 社、年間 150,000 円×1 社
ClayScience 誌収入	671,000	704,984	-33,984	
ClayScience 誌委託販売収入	121,000	147,104	-26,104	78 冊 単価 1,728 円(下記定価×0.8)、7 冊 単価 1,760 円(下記定価×0.8)
ClayScience 誌購読料収入	150,000	140,440	9,560	14 冊 単価 2,160 円、1 冊 単価 2,200 円、 英文冊子購読料 3,000 円×36 名
ClayScience 誌投稿料・別刷収入	400,000	417,440	-17,440	12 件
ClayScience 誌バックナンバー収入	0	0	0	
③ 一般事業収入	1,890,500	2,176,380	-285,880	
討論会収入	1,390,500	1,563,380	-172,880	第 63 回粘土科学討論会(埼玉大学)
参加料収入	766,500	906,000	-139,500	

見学会収入	120,000	120,000	0	
懇親会収入	444,000	455,000	-11,000	
広告収入	60,000	80,000	-20,000	
講演要旨集(大会時)収入	0	2,380	-2,380	
参考粘土試料頒布事業収入	400,000	513,000	-113,000	20 件
バナー広告収入	100,000	100,000	0	1 件
④ その他収入	30,000	26,584	3,416	
受取利息収入	0	24	-24	
雑収入	30,000	26,560	3,440	著作権料
事業活動収入計	5,928,500	6,450,372	-521,872	
2. 事業活動支出				
① 学会誌出版事業費支出	1,969,000	1,557,723	411,277	
粘土科学誌刊行費支出	981,000	869,448	111,552	
印刷製本費支出	891,000	751,908	139,092	58 巻 2 号(40 頁 550 部)、58 巻 3 号(28 頁 550 部)、59 巻 1 号(40 頁 550 部)
別刷印刷製本費支出	50,000	66,510	-16,510	58 巻 2 号、59 巻 1 号
J-STAGE 登録費支出	40,000	51,030	-11,030	58 巻 2 号、58 巻 3 号、59 巻 1 号
ClayScience 誌刊行費支出	818,000	539,638	278,362	
印刷製本費支出	628,000	439,263	188,737	23 巻 3 号(24 頁 155 部)、23 巻 4 号(18 頁 155 部)、24 巻 1 号(30 頁 120 部)
別刷印刷製本費支出	100,000	33,000	67,000	23 巻 3 号、23 巻 4 号、24 巻 1 号
J-STAGE 登録費支出	90,000	67,375	22,625	23 巻 3 号、23 巻 4 号、24 巻 1 号
発送費支出	170,000	148,637	21,363	粘土 58 巻 2 号・CS23 巻 2 号、58 巻 3 号・CS23 巻 3 号、59 巻 1 号・CS23 巻 4 号、CS24 巻 1 号 計 4 回分
② 一般事業費支出	2,373,500	1,937,495	436,005	
討論会開催費支出	1,390,500	935,822	454,678	第 63 回粘土科学討論会(埼玉大学)
討論会運営費支出	826,500	413,162	413,338	
見学会費支出	120,000	122,660	-2,660	
懇親会費支出	444,000	400,000	44,000	
ホームページ管理更新費支出	120,000	118,440	1,560	8-7 月委託費
参考粘土試料頒布事業費支出	200,000	255,661	-55,661	
各種委員会等運営費支出	0	0	0	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星科学連合会費
国際交流費支出	135,000	119,659	15,341	AIPEA2019 年度会費
顕彰費支出	37,000	46,773	-9,773	賞状・賞状ホルダー
学術振興費支出	150,000	50,000	100,000	学術振興賞(50,000 円×1 名)
会議費支出	331,000	401,140	-70,140	
理事会支出	31,000	26,400	4,600	9/10 理事会 お弁当代
常務委員会支出	300,000	374,740	-74,740	常務委員会交通費、お弁当代
その他会議費支出	0	0	0	
③ 管理費支出	81,550	70,000	11,550	
租税公課支出	81,550	70,000	11,550	法人都民税
④ 事務費支出	1,654,984	1,636,669	18,315	
業務委託費支出	1,468,984	1,367,836	101,148	8-7 月委託費、選挙費用 86,900 円を含む 事務局旅費、監事監査交通費 41,230 円を含む
旅費交通費支出	6,000	43,832	-37,832	サーバー料金、送料
通信運搬費支出	110,000	154,228	-44,228	8-7 月コピー代、封筒代
事務消耗品費支出	40,000	48,952	-8,952	残高証明書、振込手数料等
雑費支出	30,000	21,821	8,179	
事業活動支出計	6,079,034	5,201,887	877,147	
事業活動収支差額	-150,534	1,248,485	-1,399,019	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
積立金受入収入	150,000	50,000	100,000	
投資活動収入計	150,000	50,000	100,000	
2. 投資活動支出				
積立金預入支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	150,000	50,000	100,000	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	-534	1,298,485	-1,299,019	
前期繰越収支差額	1,281,057	1,281,057	0	
次期繰越収支差額	1,280,523	2,579,542	-1,299,019	

(1) 参考：会員数の推移

会員数の推移
(2017年8月1日～2020年8月1日)

個人会員数						(単位:人)
	2017/8/1	2018/7/31	2019/7/31	2020/7/31	2020/8/1	備考
		(7/28 理事会)	(7/27 理事会)	(7/25 理事会)		
名誉会員	20	19	19	15	14	
シニア会員	9	8	10	10	14	
正会員	309	299	298	273	255	
学生会員	38	25	25	23	18	
	376	351	352	321	301	
減少率	-	6.6%	-0.3%	8.8%	6.2%	前年対比
	-	6.6%	6.4%	14.6%	19.9%	2017年対比
備考		※	※	※		

※ 同年度末の退会者を含む。

賛助会員数						(単位:団体)
	2017/8/1	2018/7/31	2019/7/31	2020/7/31	2020/8/1	備考
		(7/28 理事会)	(7/27 理事会)	(7/25 理事会)		
賛助会員1級	7	7	7	7	7	
賛助会員2級	7	7	7	7	7	
賛助会員3級	13	13	13	13	13	
	27	27	27	27	27	
減少率	-	0%	0%	0%	0%	前年対比

- 個人会員数は、3年前(2017年)に比べて約2割減。

(2) 参考：2020年度学会誌出版事業

学会誌出版事業 2020年度 会計決算書
(2019年8月1日～2020年7月31日)

粘土科学誌				ClayScience誌			
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
決算額		決算額		決算額		決算額	
委託販売収入	81,824	印刷製本費支出	751,908	委託販売収入	147,104	印刷製本費支出	439,263
購読料収入	98,040	別刷印刷製本費支出	66,510	購読料収入	140,440	別刷印刷製本費支出	33,000
掲載料・別刷収入	324,060	J-STAGE登録費支出	51,030	掲載料・別刷収入	417,440	J-STAGE登録費支出	67,375
バックナンバー収入	0			バックナンバー収入	0		
広告収入	220,000			広告収入	0		
収入合計	723,924	支出合計	869,448	収入合計	704,984	支出合計	539,638

収支			
(単位:円)			
	収入合計	支出合計	収支
粘土科学誌	723,924	869,448	-145,524
ClayScience誌	704,984	539,638	165,346
発送費		148,637	-148,637
合計	1,428,908	1,557,723	-128,815

学会誌 在庫状況(2020年7月31日現在)			
粘土科学誌 巻号	在庫(部)	Clay Science誌 巻号	在庫(部)
55-2	3	21-2	37
56-1	29	22-1	40
56-2,3	42	22-2	47
57-1	53	22-3	12
57-2	51	22-4	18
57-3	110	23-1	20
58-1	110	23-2	15
58-2	110	23-3	18
58-3	140	23-4	25
59-1	143	24-1	18

- 参考：上記在庫は、国際文献社内にて学会で借用の1棚の範囲内。他、法定保存文書および資料としてのバックナンバー各号若干部数は、外部倉庫にて11箱を保管(保管料：11箱×250円×12カ月＝33,000円/年)。
- 2021年度に予定する対応
 - 在庫保管部数：2021年度新会員配布分の他、各号10冊を目安に、多いものを整理・処分。
 - 印刷部数：粘土科学雑誌について、現行の550部/巻を、460部に削減。
- 課題
 - 現状：発行し発送する分、郵送料相当の赤字。
 - 収支バランスの健全化：1冊の印刷製本費を抑制するために1冊のページ数上限を設定、購読料の増額、合併号など年間の印刷・発行・販売部数・発送回数削減、など、対応案を今後検討。
- 粘土科学討論会講演要旨集：第51、53、58回の保管分が欠落のためご提供を求む。

3. 2020 年度参考粘土試料頒布事業会計決算

参考粘土試料頒布事業 2020 年度 会計決算書
(2019 年 8 月 1 日～2020 年 7 月 31 日)

(単位:円)

収入の部	決算額 (2019.8.1～2020.7.31)	支出の部	決算額 (2019.8.1～2020.7.31)
試料売り上げ(20 件)	513,000	試料代金	234,420
		事務手数料	17,512
		振込手数料	3,729
収入合計	513,000	支出合計	255,661
収入-支出	257,339		

4. 2020 年度学術振興積立金決算

学術振興積立金 2020 年度 決算書
(2019 年 8 月 1 日～2020 年 7 月 31 日)

(単位:円)

科 目	予算額 (2019.8.1～2020.7.31)	決算額 (2019.8.1～2020.7.31)	差 異	備 考
学術振興積立金 増加分				
前年度繰越金	624,732	624,732	0	
受取利息	0	0	0	
学術振興積立金 減少分				
本年度引当金	150,000	50,000	100,000	
振込手数料	0	0	0	
次年度繰越金	474,732	574,732	-100,000	

- 現在のペースでは、向こう3～4年の間に資金ショート。今後、理事会で方策を検討。

5. 2020 年度財産目録

一般社団法人日本粘土学会 2020 年度 財産目録
(2020 年 7 月 31 日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	当年度 (2020.7.31 現在)	前年度 (2019.7.31 現在)	増 減
I. 資産の部					
1. 流動資産					
預金					
普通預金口座			3,643,985	2,446,194	1,197,791
みずほ銀行	運転資金として		2,753,767	1,958,495	795,272
三菱 UFJ 銀行	運転資金として		890,218	487,699	402,519
振替口座			1,084,457	2,878,635	-1,794,178
ゆうちょ銀行	年会費受入用		1,084,457	1,894,635	-810,178
ゆうちょ銀行	討論会用		0	984,000	-984,000
未収金			127,600	227,840	-100,240
掲載料、参考粘土			127,600	227,840	-100,240
流動資産合計			4,856,042	5,552,669	-696,627
2. 固定資産					
特定資産					
普通預金口座			574,732	624,732	-50,000
みずほ銀行	学術振興積立金		574,732	624,732	-50,000
固定資産合計			574,732	624,732	-50,000
資産合計			5,430,774	6,177,401	-746,627
II. 負債の部					
1. 流動負債					
未払金			50,000	1,259,112	-1,209,112
国際文献社	事務局経費		0	640,826	-640,826
その他	学術振興賞		50,000	618,286	-568,286
前受金			300,000	1,074,000	-774,000
討論会参加費等			0	984,000	-984,000
CS 冊子体購読料	2021 年度購読料		80,000	90,000	-10,000
広告収入	2021 年度広告料		220,000	0	220,000
前受会費			1,926,500	1,938,500	-12,000
正会員	2021 年度会費		1,218,000	1,236,000	-18,000
シニア会員	2021 年度会費		38,500	24,500	14,000
学生会員	2021 年度会費		0	38,000	-38,000
賛助会員	2021 年度会費		670,000	640,000	30,000
流動負債合計			2,276,500	4,271,612	-1,995,112
2. 固定負債					
固定負債合計			0	0	0
負債合計			2,276,500	4,271,612	-1,995,112
正味財産			3,154,274	1,905,789	1,248,485

2020 年 8 月 6 日

監 事 監 査 報 告 書

一般社団法人日本粘土学会
会長 山崎 淳司 殿

一般社団法人日本粘土学会

監事 月村 勝宏 
監事 志々月 正高 

私たち監事は、一般社団法人日本粘土学会の 2019 年 8 月 1 日から 2020 年 7 月 31 日までの 2020 年度の監査を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、一般社団法人日本粘土学会の常務委員会及び理事会等の会議に出席して理事及び使用人等から業務の執行状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

また、2020 年 8 月 6 日に当該事業年度に係る事業報告書、計算書類（収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書）及びその附属明細書等の調査を行いました。

2 監査の結果

- (1) 常務委員及び理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 計算書類及びその附属明細書等は、当法人の収支、財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 単年度予算額に比較して正味財産額が少なく、単年度収入程度の正味財産期末残高を保有することが適切な会運営に必要であると考えます。

以上

一般社団法人日本粘土学会 2021 年度事業計画書(案)
(2020 年 8 月 1 日～2021 年 7 月 31 日)

1. 学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

学会誌「粘土科学」を下記の通り3回発行する。

2020年8月：第59巻2号を発行予定。主な掲載内容：日本粘土学会2020年度総会案内、論文、学会記事、その他

2020年12月：第59巻3号を発行予定。主な掲載内容：2020年度日本粘土学会学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀発表賞の選考結果報告、2020年度学術振興賞の受賞報告、2021年度日本粘土学会学会賞等(学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞)受賞候補者の募集、2021年度日本粘土学会学術振興賞の募集、第64回粘土科学討論会の予告、論文、学会記事、その他

2021 年 3 月：第 60 巻 1 号を発行予定、主な掲載内容：第 64 回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込み等)、論文、学会記事、その他

(2) Clay Science

2020 年 9 月：2020 年度第 1 回 Clay Science 編集委員会(web)

英文学会誌「Clay Science」を下記の通り発行する

2020 年 9 月 Vol.24, No.1,2 合併号(Asian Clay 2020 特集号) 発行予定

2020 年 12 月 Vol.24, No.3,4 合併号 発行予定

2021 年 3 月 Vol.25, No.1 発行予定

2021 年 6 月 Vol.25, No.2 発行予定

Clay Science への投稿数を増やすため、会員及び会員以外の国内・国外研究者への積極的な投稿呼びかけを行う。

2. 研究発表会・見学会等の開催

(1) 第 64 回粘土科学討論会(信州大学)について

2021 年 9 月に延期

(2) 第 64 回粘土科学討論会(信州大学)の令和 3 年 9 月開催への準備

2020 年 12 月 討論会の開催予告をホームページに掲載する。

2021 年 1 月 討論会の開催計画を作成する。

2021 年 2 月 事務局から関連学会への共催・後援の依頼を行う

2021 年 3 月 第 64 回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込等)を粘土科学およびホームページに掲載する。

2021 年 6 月 講演申込の受付を行う。

2021 年 7 月 講演プログラム(案)を作成する。第 64 回粘土科学討論会のお知らせ(プログラム等)を粘土科学に掲載する。講演要旨に掲載する企業広告の募集を行う。

3. シンポジウム・セミナーの開催

第 64 回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備をする。

第 64 回粘土科学討論会のスケジュールの決定にあわせて、シンポジウムを再企画する。シンポジウムテーマは、本年度予定していた「粘土科学における SDGs」の再提案を含め、企画委員会内で審議の上、理事会に諮って決定する。5名程度の講師を依頼し、開催時間3時間程度(各講師 30～40 分程度)で計画する。シンポジウムの

開催に向けて、以下の準備を行う。

2020 年 9 月 シンポジウム概略を草案

2021 年 12 月末 シンポジウム詳細を草案

2021 年 1 月末 タイムスケジュールを決め、講演者確定・依頼

2021 年 3 月末粘土科学及び HP 掲載の案内作成

2021 年 6 月末講演者確定への連絡、予稿原稿の依頼

2021 年 7 月中予稿原稿の収集・提出

4. 参考試料

日本粘土学会参考試料として、次の粘土鉱物試料の頒布を行う。

JSCC-1101 カオリナイト(関白)

JSCC-1301 ディッカイト(勝光山)

JSCC-2101 パイロフィライト(勝光山)

JSCC-3101 モンモリロナイト(月布)

JSCC-3102 モンモリロナイト(三川)

JSCC-3501 合成サポナイト(クミネ工業)

JSCC-5501 ハイドロバイオタイト(南アフリカ)

5. 広 報

学会ホームページの更新と、必要に応じて粘土科学Q&Aに対する対応、バナー広告の掲載、メーリングリストを利用した各種案内等の送信を行う。なお、2021年度のホームページの主な更新及び掲載内容の予定は下記のとおりである。

2020年10月:2020年度総会議案書、2020年度総会議事録、2021年度第1回理事会及び常務委員会議事録の掲載、役員名簿等の更新。

2020年12月:第64回粘土科学討論会予告の掲載。

2021年2月:2021年度第2回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

2021年3月:2021年度日本粘土学会学会賞等(学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞)受賞候補者の募集、2021年度日本粘土学会学術振興賞の募集、第64回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込み予告等)の掲載。

2021年6～7月:第64回粘土科学討論会のお知らせ(プログラム等)、各種申込みフォームの掲載、2021年度第3回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

2021 年 8 月:総会開催のお知らせ、2021 年度第 4 回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

6. 渉 外

AIPEA ニュースレターの作成及び送付、2024 年に予定している米国粘土学会と Asian Clay の合同会議に向けた協力等を行う。また、粘土に関する国際会議においてアジア粘土会議としてセッションを立てるなど、日本やアジアの粘土研究のアクティビティを紹介できる活動を行う。

7. 表 彰

(1) 学会賞等

2021 年度日本粘土学会賞等(学会賞、功績賞、奨励賞、技術賞)の受賞候補者の推薦を募集する。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。選考委員会において受賞候補者の選考を行う。また、粘土科学誌および Clay Science 誌に掲載された論文の中から論文賞受賞候補論文の選考を

行う。各賞の受賞候補者数は、学会賞：1名以内、功績賞：若干名、奨励賞：2名以内、技術賞：2名(件)以内、論文賞：原則として2編とする。

(2) 学術振興賞

2021 年度学術振興賞の募集を行う。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。応募者に対して選考委員会で受賞候補者の選考を行う。受賞者数は2名以内とする。

8. 研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部を援助する。研究グループの活動期間は原則として3年とし、活動資金の援助は活動期間を通して1回限り5万円とする。

9. 庶務

(1) 他学会等との連絡・協力

公益社団法人日本地球惑星科学連合の団体会員として地球惑星科学系学会との連携を継続するとともに、日本学術会議の動向に関する情報収集を行う。

(2) 関連学協会との共催・協賛

粘土科学にかかわる各部門の学協会が開催する学会、講演会、展示会等の共催・協賛を行いつつ、連携と協力を進める

(3) 会員動向

会員動向の適切な把握に努めると共に、ホームページの会員マイページの利用を勧める。

10. 常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

2021 年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催する。

9 月 15 日(火)第1回常務委員会

主な議題：2021 年度常務委員の役割分担、2021 年度年間スケジュール、第 64 回粘土科学討論会について

1 月 23 日(土)第2回常務委員会

主な議題：2021年度事業中間報告、2021年度会計中間報告、第 64 回粘土科学討論会について、その他

7 月 24 日(土)第3回常務委員会

主な議題：2021 年度事業中間報告、2021 年度会計中間報告、2022 年度事業計画、2022 年度予算、2021 年度学会賞等の選考結果、2021年度学術振興賞選考結果、第 64 回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8 月 21 日(土)第4回常務委員会

主な議題：2021年度事業報告、2021年度会計決算及び監査報告、2021年度総会議案書、第 64 回粘土科学討論会について、その他

(2) 理事会

2021 年度事業の業務執行を決定するため、下記のとおり理事会を開催する。

9 月 15 日(火)第1回理事会

主な議題：2021年度常務委員構成、2021年度委員会委員(学会賞等選考委員会委員、学術振興積立金運営委員会委員、他)の選出、2021年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1 月 23 日(土)第2回理事会

主な議題:2021年度事業中間報告、2021年度会計中間報告、第 64 回粘土科学討論会について、その他

7 月 24 日(土)第3回理事会

主な議題:2021 年度事業中間報告、2021 年度会計中間報告、2022 年度事業計画、2022 年度予算、2021 年度学会賞等の選考結果、2021 年度学術振興賞選考結果、第 64 回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8 月 21 日(土)第4回理事会

主な議題:2021 年度事業報告、2021 年度会計決算及び監査報告、2021 年度総会議案書、第 64 回粘土科学討論会について、その他

一般社団法人日本粘土学会 2021 年度一般会計収支予算案

(2020 年 8 月 1 日～2021 年 7 月 31 日)

科 目	2021 年度予算額 (2020.8.1～ 2021.7.31)	2020 年度 予算額 (2019.8.1～ 2020.7.31)	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	2,647,000	2,787,000	-140,000	
正会員会費収入	1,785,000	1,925,000	-140,000	7,000 円×255
シニア会員会費収入	49,000	35,000	14,000	3,500 円×14 名
学生会員会費収入	63,000	77,000	-14,000	3,500 円×18
賛助会員会費収入	750,000	750,000	0	40,000 円×7 社、30,000 円×7 社、20,000 円×13 社
② 学会誌出版事業収入	1,207,800	1,221,000	-13,200	
粘土科学誌収入	700,800	550,000	150,800	30 冊×単価 1,760 円(下記定価×0.8) 29 冊(2020)
粘土科学誌委託販売収入	52,800	52,000	800	45 冊(2020)×単価 2,200 円
粘土科学誌購読料収入	99,000	108,000	-9,000	54,000 円/件(2020 中間平均)×6 件(2020 中間実績)
粘土科学誌掲載料・別刷収入	324,000	165,000	159,000	若干部数 (2020 実績なし)
粘土科学誌バックナンバー収入	5,000	5,000	0	粘土科学 2 件 単発
粘土科学誌広告収入	220,000	220,000	0	70,000 円×1 社、年間 150,000 円×1 社
ClayScience 誌収入	507,000	671,000	-164,000	80 冊×単価 1,760 円(下記定価×0.8) 79 冊(2020)
ClayScience 誌委託販売収入	121,000	121,000	0	15 冊(2020)×単価 2,200 円、英文冊子体購読料 3,000 円×36 名(2020)
ClayScience 誌購読料収入	141,000	150,000	-9,000	35,000 円/件(2020 中間平均)×7 件(2020 中間実績)
ClayScience 誌投稿料・別刷収入	245,000	400,000	-155,000	
ClayScience 誌バックナンバー収入	0	0	0	
③ 一般事業収入	500,000	1,890,500	-1,390,500	
討論会収入	0	1,390,500	-1,390,500	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
参加料収入	0	766,500	-766,500	
見学会収入	0	120,000	-120,000	
懇親会収入	0	444,000	-444,000	
広告収入	0	60,000	-60,000	
講演要旨集(大会時)収入	0	0	0	
参考粘土試料頒布事業収入	400,000	400,000	0	
バナー広告収入	100,000	100,000	0	1 件
④ その他収入	30,000	30,000	0	
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	30,000	30,000	0	著作権料
事業活動収入計	4,384,800	5,928,500	-1,543,700	
2. 事業活動支出				
① 学会誌出版事業費支出	1,951,840	1,969,000	0	
粘土科学誌刊行費支出	1,003,840	981,000	40,000	59 巻 2 号、3 号、60 巻 1 号 3 冊各 40 頁 460 部(550 部:2020、差額減 5,720 円/回)
印刷製本費支出	873,840	891,000	0	2 巻 66,510 円(2020 中間)
別刷印刷製本費支出	80,000	50,000	30,000	3 巻 51,030 円(2020 中間)
J-STAGE 登録費支出	50,000	40,000	10,000	

ClayScience 誌刊行費支出	778,000	818,000	-40,000	24 巻 2・3 合併号、4 号、 25 巻 1 号、2 号 4 冊各 30 頁各 120 部×2(2020)
印刷製本費支出	628,000	628,000	0	3 巻 33,000 円(2020 中 間)
別刷印刷製本費支出	60,000	100,000	-40,000	3 巻 67,375 円(2020 中 間)
J-STAGE 登録費支出	90,000	90,000	0	粘土 59 巻 2 号、59 巻 3 号、60 巻 1 号、CS24 巻 2・3 合併号、24 巻 4 号
発送費支出	170,000	170,000	0	
② 一般事業費支出	844,800	2,373,500	-1,528,700	
討論会開催費支出	0	1,390,500	-1,390,500	新型コロナウイルス感染 症の影響により中止
討論会運営費支出	0	826,500	-826,500	
見学会費支出	0	120,000	-120,000	
懇親会費支出	0	444,000	-444,000	
ホームページ管理更新費支出	118,800	120,000	-1,200	更新管理基本料 48,000 円(+税)、CMS セキュリテ ィサポート 60,000 円(+ 税)
参考粘土試料頒布事業費支出	250,000	200,000	50,000	228,702 円(2020)
各種委員会等運営費支出	0	0	0	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星科学連合会費
国際交流費支出	135,000	135,000	0	AIPEA2020 年度会費
顕彰費支出	50,000	37,000	13,000	賞状・賞状ホルダー 46,770 円(2020)
学術振興費支出	150,000	150,000	0	
会議費支出	131,000	331,000	-200,000	
理事会支出	31,000	31,000	0	
常務委員会支出	100,000	300,000	0	会議 Web 化により旅費を 1/3 に削減。Web 会議費 (ZOOM:2,200 円×3 ヶ月 (8 月下旬～9 月中、1 月、7 月)) 含む。
その他会議費支出	0	0	0	
③ 管理費支出	81,550	81,550	0	
租税公課支出	81,550	81,550	0	法人住民税、登録免許税
④ 事務費支出	1,740,180	1,654,984	85,196	
業務委託費支出	1,560,180	1,468,984	91,196	クレジット引落代行手数 料、登記用住所提供が追 加、契約金額算定基準書 から HP 関連経費を差し 引き
旅費交通費支出	0	6,000	-6,000	
通信運搬費支出	110,000	110,000	0	サーバー料金、送料
事務消耗品費支出	40,000	40,000	0	コピー代、封筒代
雑費支出	30,000	30,000	0	残高証明書、振込手数料 等
事業活動支出計	4,618,370	6,079,034	-1,443,504	
事業活動収支差額	-233,570	-150,534	-100,196	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
積立金受入収入	150,000	150,000	0	
投資活動収入計	150,000	150,000	0	
2. 投資活動支出				
積立金預入支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	150,000	150,000	0	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	-83,570	-534	-100,196	
前期繰越収支差額	1,280,523	1,281,057	0	
次期繰越収支差額	1,196,953	1,280,523	-100,196	

- ・ 収支：事業単位の黒字化
 - 収入に見合った支出：会費収入と通常事業支出のバランス。
- ・ 財務：単年度予算額に対する十分な正味財産期末残高、記念事業等に向けた貯蓄
 - 各事業単位の採算性。
 - 新規収益事業の検討。
- ・ コロナ持続化給付金：9月収入減(討論会)に関する申請の可能性。

第5号議案 2021・2022 年度理事の選任

令和2年 6 月 1 日に公示された 2021・2022 年度役員選挙により選出された理事候補者は以下のとおりです。下記の理事候補者27名を 2021・2022 年度日本粘土学会理事に選任することを提案します。

一般社団法人日本粘土学会 2021・2022 年度理事候補者(順不同・敬称略)

役 職	氏 名	分 野	所 属
理 事	會澤 純雄	2, 3	岩手大学
理 事	井出 裕介	2, 3	(国)物質・材料研究機構
理 事	伊藤 健一	6	宮崎大学
理 事	上原 元樹	2, 5, 6	(公財)鉄道総合技術研究所
理 事	小口 千明	1, 5	埼玉大学
理 事	亀島 欣一	2, 3, 6	岡山大学
理 事	黒田 義之	2, 3	横浜国立大学
理 事	小暮 敏博	1, 2, 6	東京大学
理 事	笹井 亮	3, 6	島根大学
理 事	寒河江 竹弘	3	日本ポリプロ(株)
理 事	佐藤 努	1, 2	北海道大学
理 事	地下 まゆみ	1, 5	大阪大谷大学
理 事	鈴木 憲子	2, 6	昭和薬科大学
理 事	鈴木 正哉	1, 2	産業技術総合研究所
理 事	鈴木 康孝	3	山口大学
理 事	高木 慎介	3, 6	東京都立大
理 事	田村 堅志	2, 3, 6	(国)物質・材料研究機構
理 事	千野 裕之	5, 6	(株)大林組
理 事	手束 聡子	2	千葉科学大学
理 事	中川 昌治	1	高知大学
理 事	中戸 晃之	3	九州工業大学
理 事	日比野 俊行	2	産業技術総合研究所
理 事	万福 裕造	4, 5	農業・食品産業技術総合研究機構
理 事	宮元 展義	3	福岡工業大学
理 事	三好 陽子	1	産業技術総合研究所
理 事	毛利 恵美子	3	九州工業大学
理 事	横山 信吾	1, 2	電力中央研究所

分野:1:地球科学, 2:資源・材料, 3:化学・物理, 4:土壌・肥料・農林業, 5:建設・土木, 6:環境・新領域
以上、理事候補27名。

第6号議案 2021・2022 年度会長の選任

令和 2 年 6 月 1 日に公示された 2021・2022 年度役員選挙により選出された会長候補者は以下のとおりです。下記の会長候補者を 2021・2022 年度年度日本粘土学会会長に選任することを提案します。

一般社団法人日本粘土学会 2021・2022 年度年度会長候補者(敬称略)

役 職	氏 名	分 野	所 属
会 長	小暮 敏博	1, 2, 6	東京大学

分野:1:地球科学, 2:資源・材料, 3:化学・物理, 4:土壌・肥料・農林業, 5:建設・土木, 6:環境・新領域

第7号議案 2021・2022 年度監事の選任

令和 2 年 6 月 1 日に公示された 2021・2022 年度役員選挙により選出された監事候補者は以下のとおりです。下記の監事候補者2名を 2021・2022 年度日本粘土学会監事に選任することを提案します。

一般社団法人日本粘土学会 2021・2022 年度監事候補者(順不同・敬称略)

役 職	氏 名	分 野	所 属
監 事	月村 勝宏	1, 3, 6	産業技術総合研究所
監 事	志々目 正高	3	前田工織株式会社

分野:1:地球科学, 2:資源・材料, 3:化学・物理, 4:土壌・肥料・農林業, 5:建設・土木, 6:環境・新領域

Ⅱ. 報告事項

1. 2020 年度学会賞等の受賞者

- (1) 学会賞 田村 堅志(国立研究開発法人物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点)
受賞題目「粘土鉱物層間にはたらく力の精密制御に基づく機能性粘土複合材料の研究」
- (2) 功績賞 和田 信一郎((株)アステック 技術開発研究所)
受賞題目「粘土鉱物学を応用した土壌環境分野の研究を通じた粘土科学発展への貢献」
- (3) 奨励賞 向井 広樹 (筑波大学生命環境系)
受賞題目「放射能汚染の実態解明を目指したセシウムの粘土鉱物への吸着・固定に関する研究」
- (4) 技術賞 株式会社 安藤・間技術研究所
受賞題目「放射性廃棄物処分におけるベントナイトの大規模施工に向けた研究・技術開発」
- (6) 論文賞 J. Kemi, T. Yamaguchi, T. Okada, and S. Taruta
受賞論文: INFLUENCE OF NEGATIVE CHARGE DISTRIBUTION AND LOCATIONS OF Na⁺ IONS ON IONIC CONDUCTIVITY OF Na-MICAS. Clay Science, 23(3), 31-39 (2019).
論文賞 M. Okawara, Y. Saito, K. Soga
受賞論文: STUDY ON THE MECHANISM OF CONSISTENCY CHARACTERISTICS OF Na-MONTOMORILLONITE USING SMALL-ANGLE X-RAY SCATTERING METHOD. Clay Science, 23(2), 19-24 (2019).

2. 2020 年度学術振興賞の受賞者

荒川京介 (東京都立大学 都市環境科学研究科 環境応用化学域)
受賞発表: 粘土表面がアルデヒド・ジオール平衡へ及ぼす影響

3. 第 64 回粘土科学討論会の延期について

2020 年 9 月 15 日～9 月 16 日に信州大学 長野(工学)キャンパスで予定していた「第 64 回粘土科学討論会」の開催に関しまして、理事および常務委員にアンケートを実施し、実行委員会との協議を重ね、臨時の理事会を開催した結果、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、参加者の皆様の安全と感染拡大の防止のため開催を取りやめ、1 年程度延期することとした。なお、第 64 回粘土科学討論会は、2021 年 9 月をめどに信州大学 長野(工学)キャンパスにて開催予定。

4. その他